

★大阪メトロ今里筋線をご利用の皆様へ★

城東区民の足である大阪メトロ今里筋線は車掌のいないワンマンカーで運行されています。しかもこの4月から駅員が常時1人体制に削減されました。車椅子利用者や視覚障がい者などの交通弱者を始めとする、多くの市民に悪影響を与えることは明らかです。しかし、大阪メトロはこの大削減計画（1/5の1000人削減計画）を市民に公表していません。さらに保守・保線要員も削減され乗客の安全・安心がピンチに！ 2025年にかけてこの合理化計画の動きに大きく舵を切ろうとしています。

そこで、7/23(金)「平和と民主主義をともにつくる会・大阪」(山川よしやす事務所) (以降、山川会)スタッフで、実際に車椅子利用者と視覚障がいの方と一緒に、この大阪メトロ今里筋線の現場検証を実施しました。

A 住民で大阪メトロ大合理化問題を現場検証実施！

今里筋線各駅・駅長室・ホームで、聞き取り調査しました！

- 今里筋線：単独駅は平日も土日ラッシュ時も4月から駅員1人体制（清水駅のみ2人）で、駅長室に待機レインターーホン対応→改札・ホームは無人・ホーム柵を設置し、車掌廃止でワンマン運転（今里筋線開業時から）。駅員は、午前8時から24時間勤務（終電後3時間仮眠）の、過酷な勤務体制。
- 当会スタッフは、注目を集めるため乗車時に、「メトロ大合理化やめて」「駅員さん一人で大忙し」「災害でも助けに行けません」など書いたうちわをもって移動しました。

〈問題点〉

- 工事で段差をなくしたのでスロープは不要、車椅子は駅員を呼ばず各自で乗るが、電車とホームの間に隙間があるため、車椅子での乗車時にはある程度のスピードが必要。
- 視覚障がい者が、改札で障がい者バスを見せる場所がわかりにくい。
- 駅員さんは「豪雨や津波の浸水を防ぐ止水ボード設置には2人、水を遮断する鉄の扉の設置には3人が必要。しかも出口は複数。水が入っ



たら水没する。上部は社員の声を聞かない」と語ってくれた。

- ④ お客様窓口なし？→利用者の声を聞かない。

山川会で要請書を6/15に郵送したが、「協議しない」と回答。

B オンデマンドバス実証実験試乗（生野区・平野区で、社会実験運行中）

「呼べば来る」というオンデマンドバスで、「待ち時間のロス改善でシムレスでストレスフリーな移動が可能になる」のか、試乗してみた。

〈問題点〉 ①電話が繋がらない。→アプリを入れた。高齢者にはハードルが高い。②バス乗り場がわからない。

※以上の様に、乗客の安全・安心は実際には無いことが分かりました。

この問題を社会的に訴える下記シンポジウムを開催します!!

大阪メトロの大合理化を許すな！ 9.12 市民シンポジウム

●日時：2021年9月12日（日）13:30～16:30

●会場：PLP会館 大阪市北区天神橋3-9-27

JR天満駅、地下鉄扇町④出口から徒歩5分（下記地図）

●内容：①基調報告 ②大阪メトロの労働者、市民によるシンポジウム
(Zoomによるオンライン視聴も用意する予定です。)

●参加協力金：500円



主催：9.12シンポジウム実行委員会

（連絡先：なかまユニオン 三ツ林 090-8382-9487）